

永田町新潮流 平沢勝栄



【沖縄県知事選立候補者】  
(届け出順)

佐喜真 淳 54	前宮野湾市長	無新
玉城デニー 58	前衆院議員	無新
渡口 初美 83	元那覇市議	無新
兼島 俊 40	元会社員	無新

政界を引退した谷垣禎一前自民党幹事長は、かつてこう言った。

「自民党支持者は自民党に誇りを持っている。そこが、他党支持者との違いだ」

そういえば先日、野党議員が「今から病院だ」と急いでいたので、「どこが悪いのですか」と聞いたところ、次のような答えが返ってきた。

「一番悪いのは、所属する政党だ」

議員本人が、自分の政党に誇りを持っていないのである。

そうしたなか、安倍晋三首相は、先の自民党総裁選で圧勝し、連続3選を果たした。

安倍首相は「モリカケ」問題などで追及を受けてきたこ

とを踏まえ、「さまざま批判を受け止めながら、改めるべき点は改め、謙虚に丁寧な政権運営に当たりたい」と繰り返している。

かつて石原慎太郎都知事は、公私混同などで批判された。3選を目指す都知事選で、石原選対は「反省しろよ

とを踏まえ、「さまざま批判を受け止めながら、改めるべき点は改め、謙虚に丁寧な政権運営に当たりたい」と繰り返している。

最近、沖縄県・尖閣諸島周辺で中国艦船の領海侵入が目立つ。尖閣諸島は、米国の日本防衛義務を定めた日米安全保障条約5条の適用対象となっている。このことは米大統領も明言している。

もし普天間飛行場の移設手続きが難航して日米関係の悪化を招き、尖閣諸島が適用対象外となれば、日中間でいつ衝突が起こっても、不思議でない。このことだけを考えると、沖縄県民の理解を得て、普天間飛行場を早期に移設する

ことは、日本にとって喫緊の課題といえる。

沖縄県知事選の結果は、安倍首相の政権運営だけでなく、日米関係を基軸とする東アジアの安全保障情勢にも重大な影響を及ぼしかねない。

それだけに今回の知事選は自民党というより、日本にとって負けるわけにはいかない戦いである。(自民党衆院議員)

開票の沖縄県知事選である。争点の一つは、米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設問題だ。普天間飛行場をめぐり1996年の日米合意では、5〜7年以内に十分な代替施設が運用可能になった後、全面返還するとされた。

移設先は一転三転し、現在の辺野古沖に決まった。

先人の総裁選でも「反省しろよ安倍晋三、だげどやっばり安倍晋三」と思っって投票した人も多いのではないか。

「沖縄知事選は日本にとって負けられない戦い」

本にとって喫緊の課題といえる。

沖縄県知事選の結果は、安倍首相の政権運営だけでなく、日米関係を基軸とする東アジアの安全保障情勢にも重大な影響を及ぼしかねない。

それだけに今回の知事選は自民党というより、日本にとって負けるわけにはいかない戦いである。(自民党衆院議員)